

August 13, 2020

**【前日の為替概況】ダウ平均と米 10 年債利回り上昇、ドル円 107.01 円、ユーロドル 1.1816 ドル**

12日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは上昇。終値は1.1784ドルと前営業日NY終値(1.1740ドル)と比べて0.0044ドル程度のユーロ高水準。7月米消費者物価指数(CPI)が予想を上回ったことが分かったと、米長期金利の上昇とともにドル買いが入り伸び悩んだものの、ムニューシン米財務長官が「キャピタルゲイン減税のためには法律の制定が必要」との見解を示すと、米減税政策への期待感が後退し再びドル売りが優勢となり、欧米株価の上昇に伴うリスク・オンのドル売りで1.1816ドルまで上昇した。

ドル円は4日続伸。終値は106.91円と前営業日NY終値(106.49円)と比べて42銭程度のドル高水準。ただ、NY市場に限ればもみ合いの展開だった。予想を上回る7月米CPIを受けて米長期金利の上昇とともに買いが先行すると一時107.01円と7月23日以来の高値を付けたものの、107円台では戻りを売りたい向きも多く滞空時間は短かった。ムニューシン米財務長官の発言を受けてドル売りが強まると一時106.69円付近まで下押しした。ただ、株高を背景にユーロ円などクロス円が上昇するとドル円にも買いが入り106.98円付近まで持ち直した。

ペロシ米下院議長(米民主党)は「米追加経済対策巡る協議について我々はまだほど遠い場所にいる」などと発言。米政権と与野党の協議が難航しているとの見方が強まった。

ユーロ円は続伸。終値は125.98円と前営業日NY終値(125.02円)と比べて96銭程度のユーロ高水準。欧米株価の上昇を背景に投資家のリスク志向が改善し円売り・ユーロ買いが優勢になり126.21円と2019年4月18日以来約1年4カ月ぶりの高値を付けた。

ダウ平均は一時350ドル超上昇し2万8000ドル台に乗せたほか、ナイト・セッションの日経平均先物は日経終値比340円高の2万3240円まで買われる場面があった。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、日米株価指数と米 10 年債利回り上昇で続伸か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、日米株価指数の上昇や米10年債利回りの上昇を受けたリスクオンの地合いで続伸が予想される中、米中対立激化に関連する報道や米コロナ追加対策協議に関する報道に要警戒となる。本日のドル円相場はリスクオンにより堅調推移が予想される。

NY株高・債券安(金利上昇)のリスクオン(リスク選好: Risk on)の地合いでは、ドル安&円安となるが、金利上昇のドル高が相殺するので、「ドル安」より「円安」が優勢となり、ドル円は上昇する。

10時30分に発表される7月豪雇用統計は、失業率が7.8%、新規雇用者数は+4.00万人と予想されており、6月(失業率7.4%、+21.08万人)からの悪化が見込まれている。新型コロナウイルスのオセアニア地域での拡大やオーストラリアと中国との関係悪化を受けて、豪ドルの上値を抑える要因となるため、ネガティブサプライズに要警戒か。

米中対立激化に関しては、米中の総領事館閉鎖(在ヒューストン総領事館と在成都総領事館)や米中高官や当局者11人を対象とした制裁が打ち出されている。米中対立が激化した場合、中国が保有する米国債・株式の凍結懸念が高まり、米国債・株式の売却の可能性に要警戒となるため、今週の米国債の入札には要注目となる。

今週は、15日を目途に、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表と劉鶴中国副首相が、米中第1段階通商合意の実施状況の検証を行うが、米国産農産物購入やドル・人民元相場、国家安全保障上の配慮を理由としたティックトックやウィーチャットとの取引禁止の米大統領令などが議題になる、と報じられている。新型コロナウイルスなどで、中国による米国産エネルギー・農産物の購入は目標に達していないことや米大統領令に関して議論が紛糾した場合、米中対立が激化する可能性に要警戒となる。

トランプ米大統領は、議会民主党との新型コロナウイルスの追加経済対策を巡る協議が合意に至らなかったことで、4つの大統領令に署名した。ムニューシン財務長官は、協議が合意に至らない可能性があるとし、民主党のペロシ下院議長も政権と民主党との間に「大きな隔たり」や「亀裂」があるとして、政権側に中間地点で折り合いを付ける用意が整うまで交渉の席につく意味はない、と表明しており、協議が難航していることが示唆されている。

ドル円の注文状況は、上値には107.00円、107.05円、107.10円にはドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、106.50円と106.40円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

○08:50 ◇ 7月企業物価指数（予想：前月比 0.3%／前年比▲1.1%）

## &lt;海外&gt;

○08:01 ◇ 7月英王立公認不動産鑑定士協会（RICS）住宅価格（予想：▲5）

○10:30 ◎ 7月豪雇用統計（予想：失業率 7.8%／新規雇用者数 4.00 万人）

○15:00 ◇ 7月独卸売物価指数（WPI）

○15:00 ◎ 7月独消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比▲0.5%／前年比▲0.1%）

○21:30 ◇ 7月米輸入物価指数（予想：前月比 0.6%）

○21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：112.0 万件／1589.8 万人）

○14日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札

○14日 03:00 ◎ メキシコ中銀、政策金利発表（予想：4.50%に引き下げ）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

12日 12:22 オア NZ 準備銀行(RBNZ) 総裁

「NZドル高は輸出業者の収益を抑えている」

「財政政策は危機への主な対応策であり続ける」

「昨日新型コロナウイルスが国内で発生したことは本日の決定に影響を与えていない」

「リスクはまだダウンサイドに偏っている」

「金融政策によってまだたくさんの事ができる」

「積極的に利回りの低下に取り組みたい」

「金利目標の可能性は排除しないが、現時点では選択肢にない」

「現在の状況は外国資産購入に適していない」

12日 15:20 スナク英財務相

「何百も何千もの人々が職を失っている。悲しいことだが来月も多くの人が同じようになるだろう」

「以前から厳しい時くると言ってきたが、本日の指標結果がそのことを裏付けている」

12日 16:48 中国外務省

「中国は貿易協定で一貫性を保っている」

(米中の第一弾通商合意検証の閣僚級協議について)

「米国の制裁に対する立場は明確で一貫していると主張する」

「米国の制裁は非合理的で根拠がないと主張する」

「米国と台湾の関係に対する反対を繰り返し表明したい」

「TikTok 禁止が国家安全保障とは何の関係もないことを再確認する」

「(米厚生長官の訪台について)火遊びをする者は誰でも火傷をする」

12日 21:42 ムニューシン米財務長官

「キャピタルゲイン減税のためには法律の制定が必要」

「ペロシ米下院議長(米民主党)は経済対策について交渉しないだろう」

12日 23:58 ローゼングレン米ボストン連銀総裁

「米経済活動の鈍化は継続しそう」

「社会活動を行うリスクが低下するまで消費は過去の水準と比べ低調に」

「FRB はマイナス金利の利用について明らかに消極的」

13日 00:10 カプラン米ダラス連銀総裁

「米経済成長率は第3四半期に年率20%と予想」

13日 00:10 石油輸出国機構(OPEC)月報

「2020年の世界の石油需要、新型コロナウイルス流行の影響で従来予想以上に減少する見通し」

「2020年の石油需要見通し日量906万バレル減(前月予想895万バレル減)」

「2021年も回復についても不透明性が強い」

「2021年の石油需要見通し日量700万バレル増(従来見通し維持)」

※航空旅行需要や低燃費車の普及動向などに左右される可能性

13日 00:15 ロベルト・コッホ研究所(独政府公衆衛生研究機関)

「新型コロナウイルス・ワクチン、2020年秋までに1種あるいは数種のワクチン利用可能に」

13日 00:22 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長

「米国経済は自立的な回復に入っていると思う」

13日 00:23 ペロシ米下院議長(米民主党)

「COVID-19支援策に関する交渉について我々はまだまだ遠い場所にいる」

「共和党が交渉の席につかなければ交渉継続の利点はない」

13日 04:17 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁

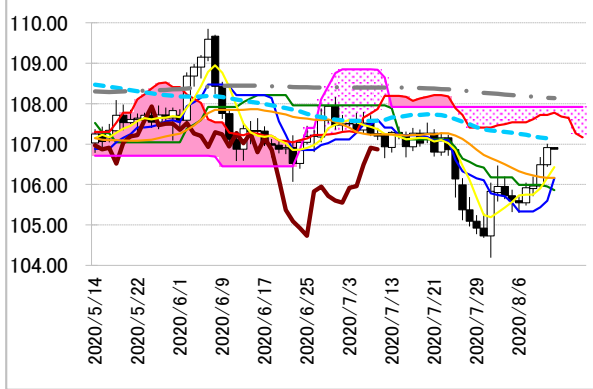
「米経済はV字回復にはならないだろう。緩やかな回復へ」

13日 07:07 カプラン米ダラス連銀総裁

「米経済にとってハードロックダウンが正しい答えだとは思わない」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

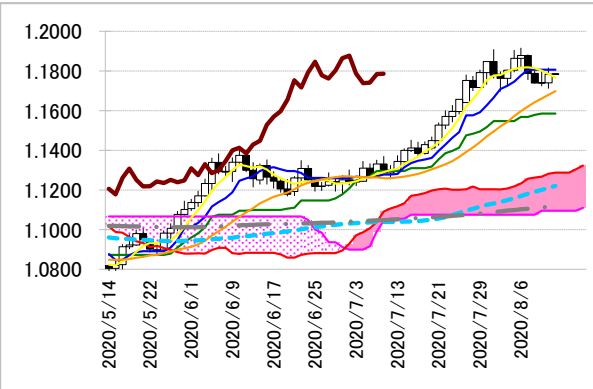


### <ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開。しかし、4手連続陽線で均衡表が好転し、転換線を上回ったことで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	107.78(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	106.91
サポート 1	106.16(日足一目均衡表・転換線)
サポート 2	105.86(日足一目均衡表・基準線)

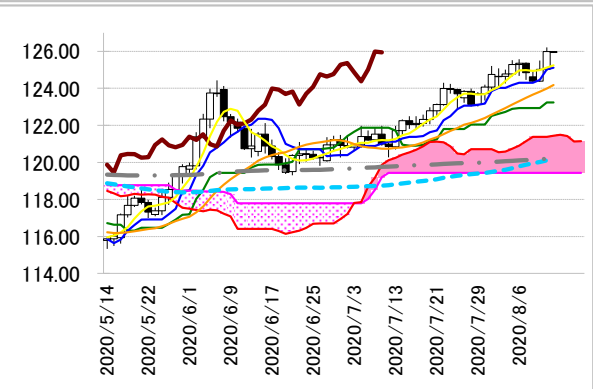


### <ユーロドル＝8/12 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。三川宵の明星で転換線を下回ったことで、ダブルトップの可能性が高まりつつあるものの、ネックラインの手前で2手連続陽線で反発し、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、8月12日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1916(8/6 高値)
前日終値	1.1784
サポート 1	1.1711(8/12 安値)

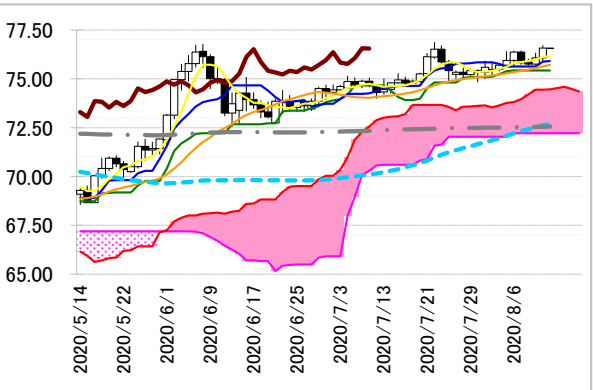


### <ユーロ円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。2手連続陽線で転換線を上回っていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	126.82(8/6-11 の下落幅の上方倍返し)
前日終値	125.98
サポート 1	125.11(日足一目均衡表・転換線)



### <豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。2手連続陽線で転換線を上回って引けており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	76.87(7/22 高値)
前日終値	76.57
サポート 1	75.91(日足一目均衡表・転換線)

